

TOMO DACHI

第6回 日米ユース・サミット
活動6年目をむかえたIFCAのユースたちが
今までの軌跡とこれからの指針を語ります



ユース・アドボカシー Youth Advocacy IFCA ユース・プロジェクトが目指すもの

日時：11月4日（月・祝日）

午後12時45分開場

1時15分から4時15分まで

会場：新宿エステック情報ビル

21階 会議室A

[東京都新宿区西新宿1-24-1 © アクセスは裏面]

参加費：500円

[フォスターユースは参加費無料です。]

定員：100名

★会場にて、自立支援やユースの権利擁護にかんする資料を用意しています。

お問い合わせ：info@ifcaseattle.org

申し込みURL:

<https://kokucheese.com/event/index/579202/>

日本とアメリカの児童養護施設や里親家庭で 育った若者たちによるプログラム

ユース・アドボカシーとは？

今年の「日米ユース・サミット」のテーマは「ユース・アドボカシー」です。アメリカで当事者の権利擁護活動に参加してきた若者2名が初来日します。自分たちの住む地域で児童福祉を取り巻く問題を解決し、州や連邦のレベルで法律や制度を変えて行った経験を力強く語ります。[英語発表部分は逐次通訳あり]

当事者の声を伝え続けてきたIFCAの日本ユースたちは、現在、日本の4つの地域で支部を立ち上げ、活動しています。かれらは来年2月、TOMODACHI イニシアチブとのパートナーシップのもと、全米規模のユース組織と本格的な協働を始めます。その準備として、年間を通じてリーダーシップを育成するプログラムを作成・実践してきました。このサミットでは、IFCA ユースたちの活動の根底にある考え方、目的や内容、そしてユースボイスを最大限に生かすためのツールについて、知ることができます。

社会的養護の当事者は社会的養護の専門家。制度に最も影響を受けた当事者ユースたちの制度改革への参加は不可欠である。 *Youth are the experts. Those who are directly impacted by the system must be part of changing it.*

TOMODACHI フォスターユース・リーダーシップ・プログラムによる 東京での第6回目のユースサミット

◎プログラム

<第1部 アメリカ・ユースの発表>

◆マケイラ・ジェームス

ユース・アドボカシー: CYC のアプローチ

◆ブリタニー・パロス

ユース委員会の作り方: 真の当事者参画とは

<第2部 日本ユースの発表>

◆東京チーム

IFCA ユースの活動の根底にある「ユース・デベロップメント」という考え方

◆静岡チーム

地域活動から社会的養護について知ってもらおう

◆関西チーム

ユース・アドボカシー: 私たちの地域の問題を解決する

◆福岡チーム

IFCAユース・プロジェクトの歩みとこれからの目標

■日米ユースによるパネルディスカッション

ごあいさつ 日本では、家庭の外で過ごさざるを得ない子どもたち、つまり、行政に保護され施設や里親家庭（フォスターケア）で育つ子どもの数は、約4万5千人に上ります。児童虐待による日本の社会的損失は約1.5兆円と試算され、子どもたちへの心的ケアや自立支援プログラムも十分とは言えない現状です。

IFCAは、フォスターケアのもとで育った10代20代の若者たちによるユースチームを日本と米国に結成。互いの国を訪れながら、フォスターケアの経験を語り、リーダーシップを身につけるワークショップを開催し、ユースの地位向上やより良い児童福祉のために活動しています。

**IFCAユースたちのブログが
リニューアルしました。**

www.myvoiceourstory.org

ご来場の皆様へ 今回、米国ユースチームの来日に合わせて開催する、6度目のユースサミットです。これから自立を迎える若者にとっては、様々な経験をした先輩に会える場です。自立を控えたユース、児童福祉関係者、養育者の皆様、ぜひ、ふるってご参加ください。

◎新宿エステック情報ビルへのアクセス

JR新宿駅西口より都庁方面に向かい、工学院大学ビルの隣、新宿センタービルの道路挟んで向かい側。徒歩5分。

西口地下ロータリーを経由し、地下道を利用することができます。



マケイラ・ジェームス（24歳・写真右）は、米国で31年の歴史を持つ、ユース・アドボカシーの団体、カリフォルニア・ユース・コネクション（CYC）の北部支部コーディネーターです。当事者ユースとして、この団体の活動に参加してから、後輩ユースを立派なアドボケイトに育て、かれらとともに、地域の社会的養護の問題を解決することに力を注いできました。カリフォルニア州下院法案12条（措置延長にかんする法案）の可決に大きな影響を与えた行動力のあるリーダーとして、多くの人から信頼されています。将来は大学院に進んで、社会福祉と法学を学ぶことを目指しています。



ブリタニー・パロス（21歳・写真左）は11歳の時に保護された後、家庭復帰、親族里親による後見人制度など、さまざまな社会的養護を経験しました。現在は、東ミシガン大学でソーシャル・ワークを専攻し、オゾン・ハウスという非営利団体で働くほか、地域でホームレス・ユースを支援する活動に加わっています。このユース・サミットでは、自身がミシガン州のユース顧問委員会の立ち上げにかかわった経験を生かして、これから、日本の若者たちが行政のあらゆるレベルにおいて「ユース委員会」を形成できるように、そのステップを解説します。



◎主催

■公益財団法人米日カウンシルージャパン

TOMODACHI イニシアチブ
www.tomodachi.org

■International Foster Care Alliance [IFCA] 501(C)3

www.ifcasettle.org
米国法人オフィス
6542 4th Ave. NW, Seattle, WA 98117

■特定非営利活動法人インターナショナル・フォスターケア・アライアンス

www.ifcajapan.org
日本法人オフィス
東京都渋谷区富ヶ谷1-33-6-202

IFCA はいくつかの事業において日米が連携・協働していますが、日本と米国の法人は個別の独立した組織です。

イベント参加申し込み用のQRコードです。

